

農林水産商工常任委員会提出資料

(令和6年5月21日)

項 目	ページ
■ 令和5年度「鳥取県農業改良普及所外部評価検討会」の開催結果について 【経営支援課】……………	2
■ 松くい虫防除に係る空中散布について 【森林づくり推進課】……………	4
■ 首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」のリニューアルオープンについて 【販路拡大・輸出促進課】……………	5
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】……………	6

農 林 水 産 部

令和5年度「鳥取県農業改良普及所外部評価検討会」の開催結果について

令和6年5月21日
経営支援課

本県の農業改良普及活動に対して各方面の委員の皆様から評価をいただき、その結果を今後の普及組織体制、普及活動に反映し、よりの確で効果的な現地支援活動を展開することを目的に、以下のとおり、標記検討会を開催しました。この検討会は平成27年度から開催しており、今回が9回目となります。

1 外部評価検討会の手順

- (1) 各普及所（県内7カ所）における「地域の意見を聴く会」
 - ① 開催時期：令和6年2～3月
 - ② 出席者：管内農業者（指導農業士等）、市町村・JA担当課長ほか
 - ③ 内容：各地域における日頃の普及活動や今後の計画に対する意見・要望を聴取した。
- (2) 全県の外部評価検討会
 - ① 開催日：令和6年3月15日（金）
 - ② 場所：鳥取県園芸試験場 講堂（北栄町由良宿）
 - ③ 出席者：評価委員8名（男性4名、女性4名）
（農業者（指導農業士等）5名、鳥取大学・報道機関・民間事業者から各1名）
 - ④ 評価課題：7課題（評価委員が各普及所の候補3～4課題の中から1課題を選定）

2 評価結果（※意見等の詳細は、別紙）

評価していただいた7課題はすべて「優れた取組である」と評価された。
また、個別の課題に対しては、より良い活動となるよう提言等をいただいた。

令和5年度鳥取県農業改良普及所外部評価検討会「評価内容別の採点結果一覧」

区分		評価対象普及活動課題名	普及指導活動の計画・課題設定	普及活動の経過と体制	普及指導活動の成果	合計点	評価
鳥取	野菜花き	らっきょう安定生産と産地活性化	4.6	3.9	8.0	16.5	◎
八頭	総合支援	特産物若桜の米・エゴマの振興と地域水田担い手の育成 ～エゴマに係る普及活動を中心に～	4.6	4.0	7.8	16.4	◎
倉吉	果樹	担い手確保と「新甘泉」生産拡大・品質向上、「王秋」生産拡大によるナシ産地の振興	4.5	4.1	8.0	16.6	◎
東伯	畜産	酪農担い手農家への支援 ～T牧場の規模拡大を目指した牛舎移転支援～	4.5	4.3	8.3	17.0	◎
西部	果樹	果樹の産地再生	4.6	4.1	8.0	16.8	◎
大山支所	作物	水田担い手農業者の経営安定支援 ～ドローンを活用したリゾケア湛水直播栽培の経営実証～	4.9	4.4	8.8	18.0	◎
日野	総合支援	新規就農者等の育成確保	4.9	4.8	8.5	18.1	◎

注) 平均の端数処理の関係で、合計点は必ずしも一致しない。

(5点配点) (5点配点) (10点配点) (20点満点)

【点数結果の凡例】	◎ 16点以上	: 優れた取組である
	○ 12点以上16点未満	: 妥当な取組である
	△ 12点未満	: 成果に乏しい取組である

(1) 評価の高かった取組

- ◎日野：日南町の就農前研修生向けの農業研修制度を日野郡全体の研修となるよう見直し、45講義実施した。また、新たに「日野郡白ネギ若手生産者会」の立ち上げを支援し、情報交流につなげた。
- ◎大山支所：全国的にも事例がないドローンを活用したリゾケア湛水直播栽培を実証支援した。移植栽培に比べ、収量面やコスト面で課題があるものの、労働負担軽減につながることが実証された。

(2) 審査委員の具体的提言の内容

- ◎鳥取・八頭・西部：産地維持・活性化等、長い目で取組をお願いしたい。
- ◎東伯：今後の活動のフォローが大事になってくると思う。

3 今後の対応

- 今回の結果はHP等で公開し、農家のみならず広く県民の皆様にも普及活動を情報発信する。
- 審査委員の意見をもとに、各普及所の普及活動計画を見直しながら、より効果的な普及活動となるように努めていく。

【別紙】

令和5年度「鳥取県農業改良普及所外部評価検討会」評価結果一覧

普及所等組織名: 評価課題名	取組の概要	点数	結果	委員からの主な意見
鳥取: らっきょう安定生産 と産地活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・らっきょう産地の維持発展を図るため、関係機関と連携し、新規就農者の受け入れ体制の整備に努めた。 ・らっきょうの安定生産を図るため、優良系統の選抜、春期の灌水効果の確認、除草剤の効果確認等を実施した。 	16.5	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・産地維持に向け、幅広い視点から課題を選定し、目標設定がされていると思う。 ・若い生産者、女性の意見を吸い上げ、産地の将来につなげてほしい。 ・農家の経営規模が拡大し、植え付けや調整等作業員の確保が大変だと思う。生産者個々として取り組むだけでなく、JAや県をあげて人員確保を考えれば安定するのではないかな。
八頭: 特産物若桜の米・ エゴマの振興と地 域水田担い手の 育成 ～エゴマに係る普 及活動を中心に～	<ul style="list-style-type: none"> ・若桜町の特産物として定着しつつあるエゴマ栽培において、新たな課題となっている害虫をモンオビヒメヨトウと特定し、使用できる薬剤が少ない中で、その対策として、薬剤(BT剤)散布の効果を確認した。 ・栽培技術について、栽植密度・収穫適期・作業分散(品種導入)等を検討し、反収が増加するなど栽培技術向上を支援した。 	16.4	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・これから販売と収量をあげるバランスがうまくいって、若い人が取り組むようになればいいと思う。 ・地道な取組なので、長い目で取組をお願いしたい。 ・普及活動として、技術を向上し、収量を上げ、農家の意欲低下を防ぎ、町が販売支援というタッグを組んで取り組んでほしい。
倉吉: 担い手確保と「新 甘泉」生産拡大・ 品質向上、「王秋」 生産拡大によるナ ン産地の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・梨産地の担い手を新たに確保するため、産地の情報発信や産地体験会の企画等を支援した。 ・新品種である「新甘泉」で新たに課題となった黒星病対策に取り組み、秀品率の向上に努めた。 	16.6	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・産地体験会の開催など、着実に普及活動を展開していると判断できる。黒星病への有効な対策が、今後の課題であると思われる。 ・今までは、地元へのビジョンの説明が手薄かなと思う。今後は生産部全体や産地PRに取り組まれるとのことなので、今後に期待大。 ・現状把握→課題の発見→生産者への落とし込み→実施の確認と、とても良いサイクルで情報交換・サポートができていると思う。ファンをたくさん作る取組を続けてほしい。
東伯: 酪農担い手農家 への支援 ～T牧場の規模拡 大を目指した牛舎 移転支援～	<ul style="list-style-type: none"> ・T牧場の課題となっていた規模拡大について、周辺近隣の空き牛舎を賃借することによって初期投資を軽減し、規模拡大につながるように空き牛舎の所有者との調整や経営計画の作成を支援し、スムーズな規模拡大と牛舎移転につなげた。 	17.0	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・牛舎、圃場を継承し、移転拡大するという事例として、今後の参考ができた成果があった。 ・きわめて手厚い支援を実施され、その努力が実り、成功した取組であると思う。 ・畜産関係は新築改築に莫大な資金がいるので、まず、農家、大山乳業、普及所、JAの日頃からの情報共有が必要だと感じた。 ・えさの高騰などで酪農も大変だと思う。毎月の検討会で確認して、次につなげてほしい。
西部: 果樹の産地再生	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹団地の入植者の公募や現地説明会を行い、入植者4名の確保につなげた。 ・果樹団地に新規に入植した非農家出身の4名に対し、基礎的な栽培技術の研修を行った。また、他新規集就農者と合同研修を企画し、横の繋がりを作る機会を設けるなど、就農に向けて支援した。 	16.8	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりが繋がって、次世代につながる農業が出来上がっていけば、すばらしいと思う。長い年月がかかるがよろしく願う。 ・果樹団地の再生という長いスパンで指導が必要な活動だと思うが、成果が出るまで普及員が変わっても指導を継続してほしい。 ・全体の活性化につながるよう、技術・経営の両面から寄り添った息の長い支援をお願いする。
大山支所: 水田担い手農業 者の経営安定支 援 ～ドローンを活用 したリゾケア湛水 直播栽培の経営 実証～	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にも事例がない、ドローンを活用したリゾケア湛水直播栽培について、M農場が本格的に取り組むにあたり、技術面、経営面での調査を行った。 ・移植栽培に比べ、収量面やコスト面で課題があるものの、労働負担軽減につながる実証が実証された。 	18.0	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの活用で、作業時間の短縮や軽減ができることは、今後の高齢化を見据えて、いいことではないかと思う。 ・高齢化が進んでおり、少しでも作業が楽になり、収量につながってほしいと思う。田んぼの維持につながっていくことを願う。 ・新しい課題に生産者と一緒に取り組む姿勢を評価したい。 ・経営・技術の実証が稲作の規模拡大等の道を拓くことを期待し、引き続き検証を続けてほしい。
日野: 新規就農者等の 育成確保	<ul style="list-style-type: none"> ・これまであった日南町の就農前の研修生向けの農業研修制度を日野郡全体の研修となるよう見直しを行い、座学や実習を45講義実施した。 ・新たに、日野郡内の白ネギ若手農家6名の「日野郡白ネギ若手生産者会」の立ち上げを支援し、お互いの圃場や作業場訪問をする動きにつなげた。 	18.1	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化が進んでいる日野郡でチャレンジしたり、サポートされている取組がとてもいいと思う。ますます元気になる農業のサポートを続けてほしい。想いがつまった行動は、次に継ぐことができると思う。 ・日野郡全体で新規就農者の確保のための活動(研修制度など)とてもいいと思う。若い農家とベテラン農家の交流があるといい。 ・人的コミュニティ形成、マインドの育成等の取組は、優良事例として意義がある。地域資源の特徴を生かした今後の取組に期待する。

【点数結果の凡例】 ◎ 16点以上 : 優れた取組である
 ○ 12点以上16点未満 : 妥当な取組である
 △ 12点未満 : 成果に乏しい取組である

松くい虫防除に係る空中散布について

令和6年5月21日
森林づくり推進課

海岸防災林など重要な松林を対象に、県下6市町において薬剤の空中散布が実施され、松くい虫被害の予防を図ります。

1 実施予定時期（※天候により変更あり）

第1回目 5月27日（月）～6月5日（水）
第2回目 6月17日（月）～6月19日（水）

2 実施予定市町及び面積

区 分	実施市町数	実施面積 (ha)	備 考
令和6年度 (A)	6	1,006	1市、5町
令和5年度 (B)	7	1,142	1市、6町
差引増減 (A-B)	△1	△136	

※事業の実施主体は各市町。

<令和6年度実施予定市町>

中部地区：三朝町 192ha、湯梨浜町 47ha、北栄町 59ha

注) 三朝町、湯梨浜町の散布は第1回目のみ

西部地区：米子市 179ha、大山町 386ha、伯耆町 143ha

3 県民への情報提供

新聞広告、ホームページ、関係機関や教育機関への通知などにより広報・周知を行う。

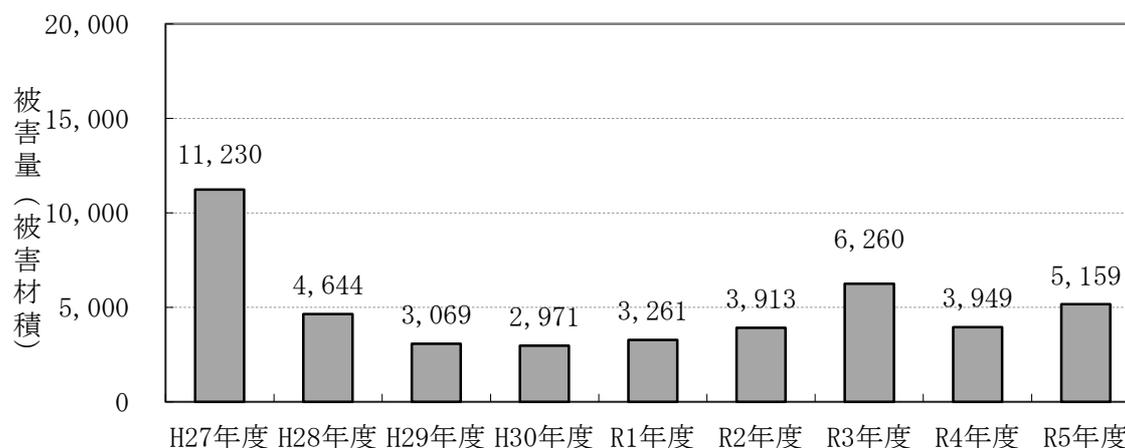
4 秋期の松くい虫防除

県と市町は、海岸防災林などの重要松林で発生した被害木の伐倒駆除等を行い、被害の拡大防止を図る。

【参考】

松くい虫被害量の推移

(単位：m3)



※令和5年度の被害量は集計中のため暫定値

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」のリニューアルオープンについて

令和6年5月21日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」は、令和6年4月25日(木)にリニューアルオープンしましたので、セレモニー等の概要について報告します。

1 リニューアルオープンセレモニー等の概要

- (1)日時 令和6年4月25日(木) 午前9時45分～11時
(2)場所 とっとり・おかやま新橋館(東京都港区新橋一丁目11-7新橋センタープレイス1・2階)
(3)主な内容

①リニューアルオープンセレモニー

ア 出席者：平井鳥取県知事、伊原木岡山県知事、浜崎鳥取県議会議員、小倉岡山県議会議員、ガンバレルーヤさん(まひるさんが大山町出身)、高橋大輔さん(倉敷市出身)、(株)稲田屋本店 梅原社長、(株)天満屋 斎藤社長

イ 内容：両県知事の挨拶、テープカット・フォトセッション、記念品配布

②リニューアルオープン記念メディア発表会

ア 出席者：平井鳥取県知事、伊原木岡山県知事、ガンバレルーヤさん、高橋大輔さん

イ 内容：両県知事の挨拶、両県知事とゲストとのトークセッション、リニューアル記念どんぶりの発表及び試食、フォトセッション

2 リニューアルオープン12日間(ゴールデンウィーク)の入館者数・売上金額と前年同時期との比較

	令和6年度【12日間】 4/25(木)～5/6(月・振休)	令和5年度【12日間】 4/26(水)～5/7(日)
入館者数	21,025人(+23.6%)	17,014人
物販売上	10,830千円(+13.4%)	9,550千円
飲食売上	4,523千円(+39.5%)	3,243千円

3 リニューアル記念 来館者向け企画

(1) 4月25日(木)～29日(月・祝) リニューアル記念抽選会

- ・1等 とっとり・おかやま新橋館で利用可能な3,000円商品券
- ・2等 同 1,000円商品券

(2) 4月25日(木)～5月6日(月・振休) リニューアル記念どんぶりの販売

- ・2階レストランもてなし家において1日10食(各県5食)限定で提供(各3,000円)

鳥取県：「砂井」 岡山県：「大人のどんぶり」



4 来館者の反響等

- ・物販店舗では「取扱い商品が増え、初めて見る商品も多く、楽しみながら商品を選ぶことができる」と喜ばれている。
- ・「ショーウィンドウの設置により、鳥取・岡山のアンテナショップということがわかりやすくなった」という声もあった。
- ・飲食店舗に新設した大型ディスプレイに映る風景画に興味を持たれて、そのまま観光コーナーに立ち寄られる方が増えた。
- ・開館時(午前10時)には、店舗前に100名近くの行列ができ、セレモニーでは、多くのメディア(32社48媒体)による取材があったことから効果的な情報発信の場となった。



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和6年5月21日
農地・水保全課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	北条用水路改修工事(3工区)	倉吉市 巖城	株式会社ヘイセイ 代表取締役 種子 善之	(当初契約額) 131,780,000円	令和5年8月21日 ～ 令和6年3月15日	(当初契約年月日) 令和5年8月9日	
				(第1回変更後契約額) 141,739,400円 (変更額) 9,959,400円		(第1回変更契約年月日) 令和5年11月27日	・地盤改良工の施工前に現地確認した結果、当初の想定と異なる土質が確認されたため、土質にあった地盤改良材に変更したことによる工事費の増額。
					令和5年8月21日 ～ 令和6年3月29日	(第2回変更契約年月日) 令和6年3月15日	・地盤改良工に時間を要したことによる工期の延伸。
					令和5年8月21日 ～ 令和6年5月25日	(第3回変更契約年月日) 令和6年3月28日	・台風第7号による災害復旧工事との工程調整に伴う工期の延伸。
				(第4回変更後契約額) 113,836,800円 (変更額) △27,902,600円		(第4回変更契約年月日) 令和6年5月2日	・施工区間の一部で大量の湧水が発生したため対策工法を検討する必要が生じ、当該区間の更新整備を取りやめたことによる工事費の減額。